

委員会
レポート

都市計画道路沼津南一色線道路設計等に関する基本計画

連合審査会を開催！



▲東日本最大級の前方後方墳である高尾山古墳

「都市計画道路沼津南一色線道路設計等に関する基本計画」が策定され、連合審査会において市当局から報告がありました。

今回策定された計画は、平成29年12月に公表された都市計画道路沼津南一色線の整備と高尾山古墳の保存を両立するための整備方針に基づき、具体的な設計に必要な基本理念などを定めたものです。

ここでは、その内容をお知らせします。



▲高尾山古墳のキャラクター「タカオさん」

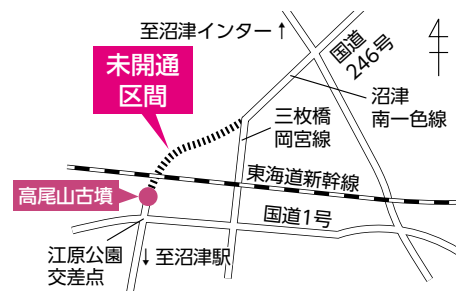


道路設計等に関する基本計画

整備計画の概要

～整備方針について～

- 道路構造物と古墳を含む周辺までを一体的な空間として設計し、質の高い整備を行うことで良好な景観を目指す。
- 整備に当たっては 東側2車線（墳丘部と神社の間）を橋梁形式で、西側2車線（墳丘部の下）をトンネル形式で整備する。
- 本市のシンボリックなモニュメントとして、古墳を現地に保存し、国史跡指定を目指す。



基本理念：南北都市軸の強化とともに、歴史を重んじ、地域のつながりを大切にする「みちづくり」

交通ネットワーク機能の改善、交通安全の向上を目指すとともに、地域の歴史を重んじ、特色ある歴史資源と一体的な景観を図ることで地域に必要な施設として整備を進めます。

発注方式：設計競技方式（デザインコンペ）

幅広いアイデアから優れたデザインを求めることができる「設計競技方式」によりデザイン案を募集します。

今後のスケジュール



設計競技の概要

～提案を求める内容～

- 橋梁・トンネル、道路附属物などの道路デザイン
- 古墳の保存・利活用の考え方及び整備方法
- 隣接市有地の利活用の考え方及び整備方法 など

令和元年度	道路設計業務の発注及び契約
令和2～3年度	道路設計の実施
令和4年度以降	東側2車線（橋梁）工事着手 西側2車線（トンネル）工事着手
令和10年頃（目標）	道路工事の完成（4車線供用）



連合審査会で交わされた主な質疑

問 古墳の国史跡指定を目指すに当たり、その手続と現在の状況は。

答 市が文部科学大臣に具申書を提出し、文化庁の文化審議会で審議され、文部科学大臣に答申された内容をもって決定する。道路設計後の手続となるため、具申には至っていないが、今回の基本計画策定には文化庁調査官も参画しており、古墳の重要性は国も認識していると考えている。

問 古墳の養生の現状は。また、誰もが沼津の宝として愛着を感じられるよう案内板等を設置する考えは。

答 風化による毀損を防ぐため保護シートを設置し、養生を行っている。また、現在2枚の看板を設置しているが、その大きさ等についても今後検討していく。

問 最優秀デザイン案を決定する設計競技実施委員会における、委員とアドバイザーの違いは。

答 設計競技実施委員会は5人の専門分野の委員に評価をお願いする。その他、3人のアドバイザーについては、デザインを選定する専門家ではないため、評価は行わないが、それぞれの知見から参考意見を伺うものである。